

高等学校学習指導要領との整合性
(試験名：Test of English for Academic Purposes(TEAP))

① 高等学校学習指導要領との整合性

i) 試験の目的・出題方針について

<目的>

TEAPは、高等学校における日頃の英語学習を踏まえながら、大学のアカデミックな場面での4技能における英語運用能力（CEFRのA2～B2レベル）を測定するテストである。

これは、高等学校学習指導要領に示されている「情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力」や「事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力」をアカデミックなコンテキストで測定するもので、以下に示す科目の「1 目標」、「2 内容」、「3 内容の取扱い」との整合性が高い。

- ・コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ
- ・英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ

特に、「コミュニケーション英語Ⅲ」の目標においては、「英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を更に伸ばし、社会生活において活用できるようにする。」とあり、高等学校での英語学習を踏まえた上で、大学というアカデミックな場面での英語運用能力を測定することを目的としたTEAPは、4技能における英語運用能力の育成を推進する高等学校学習指導要領の趣旨に沿ったものとなっている。

<出題方針>

TEAPで出題される「アカデミックな場面で遭遇する可能性の高い分野や話題」の例としては、次のようなものがある。ただし、専門的な知識を前提とした出題はない。

・教育、経済、歴史、文学、芸術、環境、エネルギー、科学、言語・コミュニケーション、異文化・多文化、国際関係、メディア、テクノロジー、自然、医療、政治、倫理など

テスト課題は、上記の5つの科目における「2 内容」の(1)に示されている様々な言語活動との関連を踏まえながら、場面・状況の適切さ、話題・題材の広さ、内容の抽象度の違いなどを考慮した上で作成され、それぞれの技能に応じた多様な形式で出題される。このような出題方針は、4技能における英語運用能力の育成を推進する高等学校学習指導要領の趣旨に沿ったものとなっている。

ii) 「聞くこと」において測定しようとする能力について

TEAPのリスニングテストでは、アカデミックな場面で遭遇する可能性の高い次のような状況や話題・題材を設定し、リスニング能力を測定している。

- ・アカデミックな話題についての会話の聞き取り（3者間の会話も含む）
（例：教授への質問、アカデミック・アドバイザーとの相談、発表の打ち合わせなど）
- ・アカデミックな話題に関するパッセージの聞き取り（図表の理解との組み合わせも含む）
（例：大学での授業・講義、社会的な話題の講演、発表、報道など）

このような状況や話題・題材に対して、以下のようなスキルが求められる多様な形式の質問が出題される。

- ・会話の概要、要点を理解する。
- ・会話の詳細な点を理解する。
- ・パッセージの概要、要点を理解する。
- ・パッセージの詳細な点を理解する。
- ・話者の意図や意見を理解する。
- ・図表の情報と統合して理解する。
- ・文脈などに基づいて推論する。

これらのスキルは、「コミュニケーション英語Ⅰ」、「コミュニケーション英語Ⅱ」、「コミュニケーション英語Ⅲ」における以下の項目に示されている言語活動との関連するものであり、多様な話題・題材について情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする能力の育成を推進する高等学校学習指導の趣旨に沿ったものとなっている。

- ・「コミュニケーション英語Ⅰ」の「2内容」の(1)のA
事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。
- ・「コミュニケーション英語Ⅱ」の「2内容」の(1)のA
事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。
- ・「コミュニケーション英語Ⅲ」の「2内容」の(1)
「コミュニケーション英語Ⅱ」の2の(1)に示す言語活動を更に発展させて行う。

iii) 「読むこと」において測定しようとする能力について

TEAPのリーディングテストでは、アカデミックな内容を理解する上で求められる語彙力を問う課題とともに、アカデミックな場面で遭遇する可能性の高い話題・題材を扱った次のようなテキスト（図表も含む）を用いて、リーディング能力を測定している。

- ・掲示、Eメール、パラグラフ単位のパッセージ
- ・物語、説明、評論、論説

このようなテキストに対して、以下のようなスキルが求められる多様な形式の質問が出題される。

- ・パッセージの概要、要点を理解する。
- ・パッセージの詳細な点を理解する。
- ・情報や考えの論理的な展開を理解する。
- ・書き手の意図や意見を理解する。
- ・図表の情報と統合して理解する。
- ・文脈などに基づいて推論する。

これらのスキルは、「コミュニケーション英語Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅱ」、「コミュニケーション英語Ⅲ」における以下の項目に示されている言語活動との関連するものであり、テキストに応じてさまざまな読み方の育成を推進する高等学校学習指導の趣旨に沿ったものとなっている。

- ・「コミュニケーション英語Ⅰ」の「2内容」の(1)のイ
説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。
- ・「コミュニケーション英語Ⅱ」の「2内容」の(1)のイ
説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。
- ・「コミュニケーション英語Ⅲ」の「2内容」の(1)
「コミュニケーション英語Ⅱ」の2の(1)に示す言語活動を更に発展させて行う。

iv) 「話すこと」において測定しようとする能力について

TEAPのスピーキングテストは受験者と試験官の対面式で行われ、アカデミックな場面で遭遇する可能性の高い状況や話題・題材を設定し、次のようなテスト課題を通してスピーキング能力を測定している。

- ・受験者自身の生活や経験に関わる質問
- ・ロールプレイ（受験者が試験官にインタビューし、対話をリードする。）
- ・社会的な話題に関するスピーチ
- ・社会性の高い話題に関する質問

これらの課題は、「コミュニケーション英語Ⅰ」、「コミュニケーション英語Ⅱ」、「コミュニケーション英語Ⅲ」、「英語表現Ⅰ」、「英語表現Ⅱ」における以下の項目に示されている言語活動と関連しており、高等学校学習指導要領の趣旨に沿ったものとなっている。また、課題を通して多様なやりとりのパターンが行われ、学習指導要領の「第3款 英語に関する各科目に共通する内容等」の1の[言語の働きの例]に示されている多様な言語機能を引き出すことが可能となり、高等学校学習指導要領の趣旨に沿ったものとなっている。

- ・「コミュニケーション英語Ⅰ」の「2内容」の(1)のウ

聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。

- ・「コミュニケーション英語Ⅱ」の「2内容」の(1)のウ

聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。

- ・「コミュニケーション英語Ⅲ」の「2内容」の(1)

「コミュニケーション英語Ⅱ」の2の(1)に示す言語活動を更に発展させて行う。

- ・「英語表現Ⅰ」の「2内容」の(1)アとウ

ア 与えられた話題について、即興で話す。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す。

ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。

- ・「英語表現Ⅱ」の「2内容」の(1)のア、ウ、エ

ア 与えられた条件に合わせて、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。

ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。また、発表

されたものを聞いて、質問したり意見を述べたりする。

エ 多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合う。

スピーキング能力の評価は次の5つの観点から行われる。

- ・発音、表現の幅、文法、流暢さ、効果的なやりとり

これらは上記に挙げた5つの科目における以下の項目を反映するもので、高等学校学習指導要領の趣旨に沿ったものとなっている。

- ・「コミュニケーション英語Ⅰ」の「2内容」の(2)のア

リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。

- ・「コミュニケーション英語Ⅱ」の「2内容」の(2)のアとエ

ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。

エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。

- ・「コミュニケーション英語Ⅲ」の「2内容」の(2)

「コミュニケーション英語Ⅱ」の2の(2)と同様に配慮するものとする。

- ・「英語表現Ⅰ」の「2内容」の(2)のア、ウ、エ

ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら話すこと。

ウ 発表の仕方や発表のために必要な表現などを学習し、実際に活用すること。

エ 聞いたり読んだりした内容について、そこに示されている意見を他の意見と比較して共通点や相違点を整理したり、自分の考えをまとめたりすること。

- ・「英語表現Ⅱ」の「2内容」の(2)のア、ウ、エ

ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら話すこと。

ウ 発表の仕方や討論のルール、それらの活動に必要な表現などを学習し、実際に活用すること。

エ 相手の立場や考えを尊重し、互いの発言を検討して自分の考えを広げるとともに、課題の解決に向けて考えを生かし合うこと。

v) 「書くこと」において測定しようとする能力について

TEAPのライティングテストは、アカデミックな場面で遭遇する可能性の高い状況や話題を設定し、次のようなテスト課題を通してライティング能力を測定している。

- ・説明文、評論文などの要約（70語程度）
- ・複数の情報源に基づくエッセイ（図表も含む）（200語程度）

これらの課題は、「コミュニケーション英語Ⅰ」、「コミュニケーション英語Ⅱ」、「コミュニケーション英語Ⅲ」、「英語表現Ⅰ」、「英語表現Ⅱ」における以下の項目に示されている言語活動と関連している。また、課題を通して、学習指導要領の「第3款 英語に関する各科目に共通する内容等」の1の[言語の働きの例]に示されている多様な言語機能を引き出すことが可能となり、高等学校学習指導要領の趣旨に沿ったものとなっている。

- ・「コミュニケーション英語Ⅰ」の「2 内容」の(1)のイ
聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基つき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。
- ・「コミュニケーション英語Ⅱ」の「2 内容」の(1)のイ
聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基つき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。

- ・「コミュニケーション英語Ⅲ」の「2 内容」の(1)
「コミュニケーション英語Ⅱ」の2の(1)に示す言語活動を更に発展させて行う。
- ・「英語表現Ⅰ」の「2 内容」の(1)のイとウ
イ 読み手や目的に応じて、簡潔に書く。
ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基つき、情報や考えなどをまとめ、発表する。
- ・「英語表現Ⅱ」の「2 内容」の(1)のイとウ
イ 主題を決め、様々な種類の文章を書く。
ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基つき、情報や考えなどをまとめ、発表する。

ライティング能力の評価は次の5つの観点から行われる。

- ・内容、一貫性、結束性、表現の幅、文法

これらは上記に挙げた5つの科目における以下の項目を反映するもので、高等学校学習指導要領の趣旨に沿ったものとなっている。

- ・「コミュニケーション英語Ⅰ」の「2 内容」の(2)のイ
内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。
- ・「コミュニケーション英語Ⅱ」の「2 内容」の(2)のイとエ
イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。

- エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。

- ・「コミュニケーション英語Ⅲ」の「2 内容」の(2)
「コミュニケーション英語Ⅱ」の2の(2)と同様に配慮するものとする。

- ・「英語表現Ⅰ」の「2 内容」の(2)のイとエ
イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら書くこと。また、書いた内容を読み返すこと。

エ 聞いたり読んだりした内容について、そこに示されている意見を他の意見と比較して共通点や相違点を整理したり、自分の考えをまとめたりすること。

- ・「英語表現Ⅱ」の「2 内容」の(2)のイ
イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連、表現の工夫などを考えながら書くこと。また、書いた内容を読み返して推敲すること。

② 資格・検定試験の問題と学習指導要領の関連項目

パート名：聞くこと

大問項目	小問項目	高等学校学習指導要領の関連項目
Part 1A	(1)～ (10)	<p>「コミュニケーション英語Ⅰ」 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>「コミュニケーション英語Ⅱ」 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>「コミュニケーション英語Ⅲ」 2 内容 (1) 1の目標に基づき、「コミュニケーション英語Ⅱ」の2の(1)に示す言語活動をさらに発展させて行う。</p>
Part 1B	(11)～ (20)	<p>「コミュニケーション英語Ⅰ」 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>「コミュニケーション英語Ⅱ」 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>「コミュニケーション英語Ⅲ」 2 内容 (1) 1の目標に基づき、「コミュニケーション英語Ⅱ」の2の(1)に示す言語活動をさらに発展させて行う。</p>
Part 1C	(21)～ (25)	<p>「コミュニケーション英語Ⅰ」 ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>「コミュニケーション英語Ⅱ」 ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p>
Part 2A	(26)～ (34)	<p>「コミュニケーション英語Ⅰ」 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>「コミュニケーション英語Ⅱ」 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>「コミュニケーション英語Ⅲ」 2 内容 (1) 1の目標に基づき、「コミュニケーション英語Ⅱ」の2の(1)に示す言語活動をさらに発展させて行う。</p>
Part 2B	(35)～ (50)	<p>「コミュニケーション英語Ⅰ」 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>「コミュニケーション英語Ⅱ」 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>「コミュニケーション英語Ⅲ」 2 内容 (1) 1の目標に基づき、「コミュニケーション英語Ⅱ」の2の(1)に示す言語活動をさらに発展させて行う。</p>

パート名：読むこと

大問項目	小問項目	高等学校学習指導要領の関連項目
Part 1	(1)～ (20)	「英語に関する各科目に共通する内容等」 ア 語、連語および慣用表現 (ア) 語 a「コミュニケーション英語Ⅰ」にあつては、中学校で学習した語に400語程度の新語を加えた語 b「コミュニケーション英語Ⅱ」にあつては、aに示す語に700語程度の新語を加えた語 c「コミュニケーション英語Ⅲ」にあつては、bに示す語に700語程度の新語を加えた語
Part 2A	(21)～ (25)	「コミュニケーション英語Ⅰ」 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 「コミュニケーション英語Ⅱ」 2 内容 (1) イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。 「コミュニケーション英語Ⅲ」 2 内容 (1) 1の目標に基づき、「コミュニケーション英語Ⅱ」の2の(1)に示す言語活動をさらに発展させて行う。
Part 2B	(26)～ (30)	「コミュニケーション英語Ⅰ」 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 「コミュニケーション英語Ⅱ」 2 内容 (1) イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。 「コミュニケーション英語Ⅲ」 2 内容 (1) 1の目標に基づき、「コミュニケーション英語Ⅱ」の2の(1)に示す言語活動をさらに発展させて行う。
Part 2C	(31)～ (40)	「コミュニケーション英語Ⅰ」 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 「コミュニケーション英語Ⅱ」 2 内容 (1) イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。 「コミュニケーション英語Ⅲ」 2 内容 (1) 1の目標に基づき、「コミュニケーション英語Ⅱ」の2の(1)に示す言語活動をさらに発展させて行う。
Part 3A	(41)～ (48)	「コミュニケーション英語Ⅰ」 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 「コミュニケーション英語Ⅱ」 2 内容 (1) イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。 「コミュニケーション英語Ⅲ」 2 内容 (1) 1の目標に基づき、「コミュニケーション英語Ⅱ」の2の(1)に示す言語活動をさらに発展させて行う。

Part 3B	(49)～ (60)	<p>「コミュニケーション英語Ⅰ」 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>「コミュニケーション英語Ⅱ」 2 内容 (1) イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。</p> <p>「コミュニケーション英語Ⅲ」 2 内容 (1) 1の目標に基づき、「コミュニケーション英語Ⅱ」の2の(1)に示す言語活動をさらに発展させて行う。</p>
---------	---------------	--

パート名：話すこと

大問項目	小問項目	高等学校学習指導要領の関連項目
Part 1	受験者の生活に関する質問	<p>「コミュニケーション英語Ⅰ」 2 内容 (1) ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。</p> <p>「英語表現Ⅰ」 2 内容 (1) ア 与えられた話題について、即興で話す。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す。</p>
Part 2	ロールプレイ	<p>「コミュニケーション英語Ⅰ」 2 内容 (1) ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。</p> <p>「英語表現Ⅰ」 2 内容 (1) ア 与えられた話題について、即興で話す。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す。</p> <p>「コミュニケーション英語Ⅱ」 2 内容 (1) ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。</p> <p>『英語表現Ⅱ』 2 内容 (1) ア 与えられた条件に合わせて、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。</p>
Part 3	スピーチ	<p>「英語表現Ⅰ」 2 内容 (1) ア 与えられた話題について、即興で話す。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す。</p> <p>「コミュニケーション英語Ⅱ」 2 内容 (1) ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。</p> <p>『英語表現Ⅱ』 2 内容 (1) ア 与えられた条件に合わせて、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。</p> <p>「コミュニケーション英語Ⅲ」 2 内容 (1) 1の目標に基づき、「コミュニケーション英語Ⅱ」の2の(1)に示す言語活動をさらに発展させて行う。</p>
Part 4	幅広い話題に関するQ&A	<p>「コミュニケーション英語Ⅱ」 ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。</p> <p>「コミュニケーション英語Ⅲ」 2 内容 (1) 1の目標に基づき、「コミュニケーション英語Ⅱ」の2の(1)に示す言語活動をさらに発展させて行う。</p> <p>「英語表現Ⅰ」 ア 与えられた話題について、即興で話す。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す。</p> <p>「英語表現Ⅱ」 ア 与えられた話題について、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。</p>

パート名：書くこと

大問項目	小問項目	高等学校学習指導要領の関連項目
Task A	課題文の 要約	「コミュニケーション英語Ⅰ」 2 内容 (1) イ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。 「英語表現Ⅰ」 2 内容 (1) イ 読み手や目的に応じて、簡潔に書く。 「コミュニケーション英語Ⅱ」 2 内容 (1) イ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。
Task B	図表も含 む複数の 情報源に 基づくエッ セイ	「コミュニケーション英語Ⅱ」 2 内容 (1) イ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。 「英語表現Ⅱ」 2 内容 (1) イ 主題を決め、様々な種類の文章を書く。 「コミュニケーション英語Ⅲ」 2 内容 (1) 1の目標に基づき、「コミュニケーション英語Ⅱ」の2の(1)に示す言語活動をさらに発展させて行う。